

しようわ



今月の表紙 2023.8.27

博士トンネルウォーク

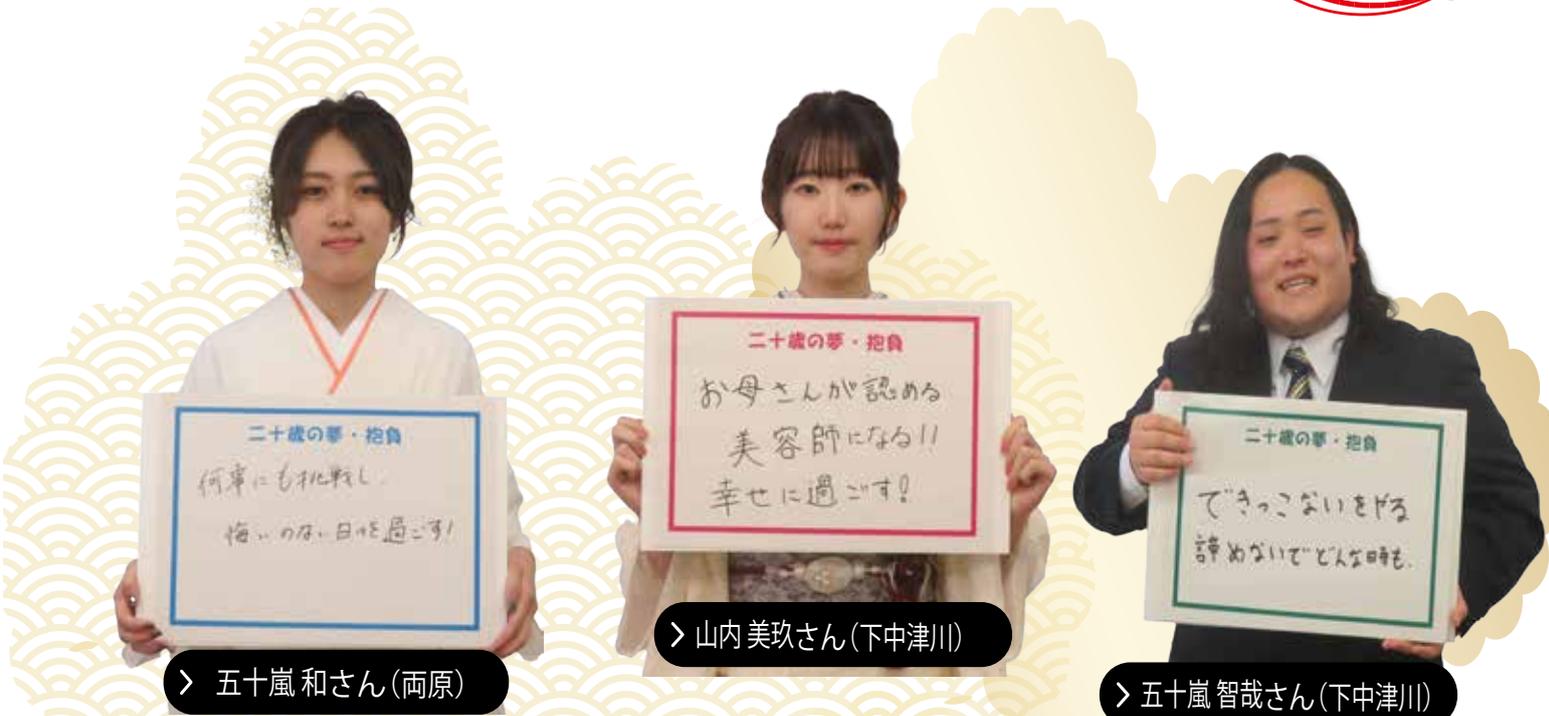
8月27日、開通を目前に控えた博士トンネルを歩く「博士トンネルウォーク」が開催されました。村内外から290人が参加し、全長4,503mを歩くコース、町村境までの2,265mを歩くコースに分かれ、ひんやりと涼しいトンネル内を歩きました。中間地点ではおいしい清水とふるまいで休憩し、壁に投影された迫力ある映像に足を止めて見入りました。ゴール地点では豚汁と軽食に舌鼓を打ち、抽選会を楽しんでいました。皆さんの楽しそうな雰囲気を感じたのか、ツキノワグマの小熊もひょっこり現れました。



全員でなごやかに



誓いの言葉を述べる山内さん



> 五十嵐 和さん(両原)

> 山内 美玖さん(下中津川)

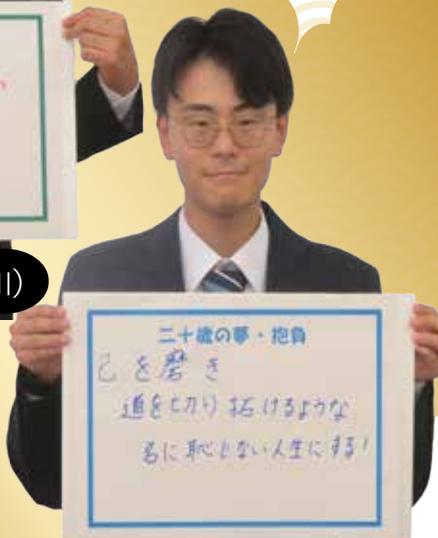
> 五十嵐 智哉さん(下中津川)

二十歳の夢・抱負

聞いてみました!



> 酒井 優樹さん(下中津川)



> 羽染 拓磨さん(大芦)



> 平野 聖夜さん(下中津川)



> 本名 萩さん(下中津川)

昭和村成人式 新成人7名出席

8月15日、昭和村公民館において、成人式が行われました。

女性は涼やかなからむしの着物を身にまとい、男性は胸ポケットにかすみ草のブートニアを差し、式に臨みました。村長から新成人一人一人に対して、成人証書が手渡されました。新成人を代表して、山内美玖さん（下中津川）が「昭和村で生まれたことに誇りを持ちながら仕事に励み、少しでも皆さんに恩返しができるように努力したい」と誓いの言葉を述べました。

式典後には、わらべの会の皆さんによる新成人にゆかりのある懐かしい曲が披露されました。また、齊藤加津代さんを講師にお迎えして、かすみ草やからむしの繊維を材料に使用した素敵なおスマツジステイック（香木と自然の花々等を束ねステイック状にしたもの）を作りました。

馬場朝子さん 人権擁護委員感謝状

7月31日、昭和村役場において、法務大臣から人権擁護委員に対する感謝状伝達式が行われ、任期満了（令和5年6月30日付）に伴い退任された馬場朝子さん（佐倉）に感謝状が贈呈されました。



昭和村消防団 優良防犯団体として表彰

7月14日、会津坂下地区防犯協会連合会定期総会時に東北区管区警察局長及び東北防犯協会連絡協議会長連名表彰を受賞しました。これは、消防団が多年にわたり地域住民と一体となつて、地域の安全活動に貢献されていることが評価され、優良防犯団体として表彰されたものです。東北では3団体が受賞し、そのうち1団体が昭和村消防団でした。今後とも地域の火災予防や安心安全のためご尽力をお願いいたします。



農業委員会・ 農用地利用最適化推進委員が決定

7月20日より、農業委員会及び農地利用最適化推進員が改選され、新規体制となりました。

農地に関する疑問やお問い合わせは、農業委員事務局（役場産業係内）、もしくは農業委員及び農地利用最適化推進員までお願いいたします。

農業委員は、農地の権利移転や農地転用に関する許認可、耕作放棄地の発生防止、遊休農地の解消等について審議する機関です。

農地利用最適化推進員は、農地利用の最適化（農地賃借における情報提供や協議促進）を推進します。

前列右側より

小林政一委員（中向）

本名敏弥委員（下中津川）

渡辺悦子委員（喰丸）

菅家 勝会長（下中津川）

五十嵐吉彦

会長職務代理者（大芦）

五十嵐富夫委員（両原）

佐々木和義委員（松山）

後列右側より

本名 敬推進員（下中津川）

長谷川洋推進員（下中津川）

本名 智委員（両原）

渡部一孝委員（野尻）

本名 亀雄委員（下中津川）

工 信幸委員（小中津川）

※欠席

渡邊正志委員（小野川）

公民館日誌

○地域スポーツ大会 両沼大会 7月2日

7月2日、会津美里町で地域スポーツ大会が開催され、本村は家庭バレーボールに出場しました。(今年度より大会名が県民スポーツ大会から地域スポーツ大会へ変更となりました。)

試合はグループリーグを2位で通過、迎えた3位決定戦で金山町と対戦し、惜しくも4位となりましたが、来年の大会へ向け選手たちは大きな手応えを感じているようでした。



○「夏休み親子自然体験～ひんやり涼しい川であそぼう!～」 7月30日

村内中向地区の不動滝周辺で「夏休み親子自然体験」を開催しました。

水中眼鏡や魚取り網を手に、川の生き物を探したり、深い窪みで浮いたり、迫力ある天然のウォーターライダーを滑ったり、思い思いに川遊びを満喫しました。鮮やかな緑で囲まれた自然の中で冷たい水で涼みながら夏の暑さを吹き飛ばし楽しみました。



(主催：昭和村公民館少年教室／共催：保健福祉課子ども会)

○三町村合同「山っ子スクール」 8月1日

昭和村の大芦地区を会場に三島町・金山町・昭和村の小学4年～6年生を対象とした自然交流事業「山っこスクール」を開催しました。

矢ノ原湿原の植物を観察しながら散策し、かすみ草のハウスで収穫を体験しました。また、野外炊飯では、班で協力して美味しいカレーとご飯を作り、スイカ割りで盛り上がりました。

1日の体験活動を通して他町村の児童との交流も深まり思い出に残る1日となりました。



○成城大学生来村 8月7日～10日

成城大学の学生32名が本村で地域の文化や歴史を学ぶために来村されました。

8日(火)は地元の郷土料理作りを体験し、9日(水)はからむしの見学や地元の昔語りを拝聴し、10日(木)は地元の方とお話会を行いました。

学生からは、昭和村の地域文化や歴史等について、様々な質問が出て、昔のことを聞いて、驚いたり、思わず笑ったりなど充実した経験となったようです。

各体験行程でご協力いただきました団体・個人の皆様ご協力ありがとうございました。





7月16日、奥会津昭和の森キャンプ場において、福島・新潟アートトラク交流会が開催されました。

当日は、福島・新潟の両県のほか、隣県から約80台のトラクが集結しました。

会場内では、様々な装飾が施されたトラクが展示され、参加者同士が交流を深めたほか、普段見ることのできないアートトラクを見に訪れた方も多くいたようです。

アートトラク 交流会

小中津川で盆踊り



8月14日、氣多神社において、小中津川地区の盆踊りが開催されました。

コロナ禍で中止しており、開催は4年ぶりのことですが、参加された皆さんは、お盆の風物詩を楽しんでいる様子でした。

太鼓・笛・唄も、ベテランから若手まで、交代しながら演奏し、盆踊りを盛り上げました。

宝くじの助成金で

エアコンとラジコン草刈機等を整備

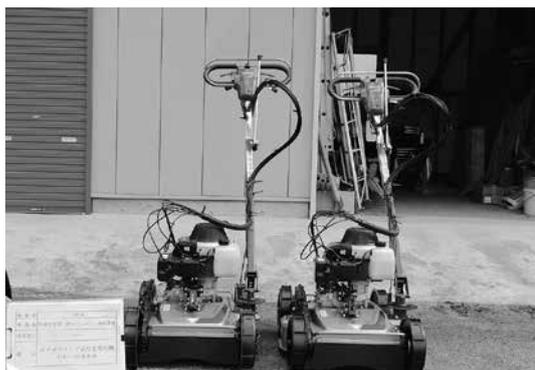


↑下中津川区長事務所に
設置されたエアコン

宝くじの社会貢献広報事業の一環として行われている、令和5年度コミュニティ助成事業を活用し、下中津川地区では区長事務所の2階にエアコンを2台設置、中向地区では共同活動及び貸出用としてリモコン式自走式草刈機1台、自走式法面草刈機2台を整備しました。



中向地区に整備された草刈機



宮下病院からのお知らせ

○感染対策室より

新型コロナウイルス感染症が5類になり、感染対策が緩和されました。しかし、ウイルスの感染力に変わりはなく、発症の2日前から発症後10日間程度、他の人に感染させる可能性があります。感染時の隔離期間は発症から5日目までとなりましたが、感染を広げないためにも10日目まではマスクを着用するなどの感染対策が重要です。また、ある研究で「初回で重症化した人は再感染でも重症化しやすい」と報告されています。一人一人の感染対策、思いやりのある行動で大切な人を守ることを忘れないでください。

○着任医師からのご挨拶

令和5年度より着任しました、渡辺綾と申します。自治医科大学を卒業し、今年で医師7年目となります。昨年までは総合内科として発熱など原因不明の症状や感染症の診療をしていました。なかなか治らないお悩みの症状がありましたら、ご相談ください。

宮下病院でも地域の皆さんのお力になれるよう、診療したいと考えておりますので、宜しくお願い致します。



内科 渡辺 綾

お問い合わせ：県立宮下病院 TEL 0241-52-2321

ハローワーク会津若松からのお知らせ

「令和5年度障害者就職面接会（会津若松会場）開催」のご案内

就職希望の障害者と求人企業が一堂に会し、数多くの面接の機会を確保し、障害者の雇用の促進を図ることを目的とした「障害者就職面接会」を下記の内容で開催します。

開催日時：令和5年10月25日（水）午後1時00分～午後4時00分

開催場所：会津アピオスペース 展示ホール
（会津若松市インター西90）

参加予定企業数：30社程度

お問い合わせ先：

ハローワーク会津若松 専門援助部門 TEL 0242-26-3333（部門コード 45#）

〔連載〕昭和村の歴史と文化

（第9回）

昭和村文化財保護審議会委員長

菅家 博昭（大岐）

縄文と繊維植物を考える

「奥会津の縄文」展の講演会が7月29日に昭和村公民館で開催された。主催は只見川電源流域振興協議会で、昭和村共催。

成城大学の田本はる菜さん（文化人類学）は「台湾先住民と織りの仕事の現在」として16ある先住民のうちセデック族の参与観察のなかで、山地と平地を行き来する暮らしのなかで、カラムシとの関わり、生産・消費の「半製品」というあり方に注目した。

2009年から台湾島での調査をまとめた『山地のポスト・トライバルアート 台湾原住民セデックと技術復興の民族誌』（北海道大学出版会、2021年）の97ページを紹介した。台湾に行き、

機織りを教わるつもりが、結果的に機織りそのものではないことばかりできるようになったという。裏山に薪（まき）を探しに行く、薪を割る。食用になる野生の実を探す……。老人たちのあとに付いて家のまわりをあるさまわり、日々の仕事を少しずつ覚える……。布を織る」技術は、それだけで完結したものではない。山地には、人間が植えたものではないけれども利用している植物が多数あり、それは「半栽培」といえるものであることを実感された。

成城大学

田本はる菜さん



福井大学

東村純子さん

福井大学の東村純子さん（考古学）は、縄文・弥生・古代の紡織の変化の講演であった。編み織りの技術と繊維植物、機織り技術の復元、古代の布生産と腰機という内容について話された。

これまで縄文時代はアングイン（編布、縦編み法）とされてきたが、小関清

子氏の研究成果により横網み法が多いのではないかと指摘された。縦編み法は、昭和村の民具の事例では「ヒデリゴモ」で、横網み法は「ヤスミイレカゴ」に該当すると指摘された。奥会津や越後の民俗事例ではマタタビ、ヤマブドウ、シナ、アカソ、イラクサ、アサ、カラムシ、スゲ、マコモ等を使用している。古墳時代の輪状式無機台腰機、直状式有機台腰機の2種類が出土した栃木県の甲塚古墳の事例をもとに2種の機織り機が併存したことを示された。

著作の『考古学からみた古代日本の紡織』（六一書房、改訂版2012年）には12ページから昭和村の事例が掲載されている。また、私信が後日届いたので紹介する。

「先日は、大変お世話になりました。また、カラムシ畑、苧引きも見学させていただき、ありがと

うございました。昭和村のカラムシは、背丈も高く、茎も太く、よい繊維を取るために高度に改良されたものだと、実感しました。苧引（からむしひ）きの方法も、昭和村では洗練されていて、長い歴史の中で、良いものを作り出そうと考えられ、受け継がれた究極の技術だと思えます。

その繊維加工の技術が、細くしなやかな糸へ、そして紗のような、からみ織りの技術にもつながるのだと思います。講演のときに田本さんの台湾の竹筒での採取の動画にどよめき上がったのが印象的でした。

また、しらかば荘にからむし織りの作品がたくさん飾られているのが美しく、20数年の変化を感じました」

昭和村史料
探訪記

vol.46

地域おこし協力隊

松尾 悠亮

小中津川名家文書の紹介②
明治時代の北海道移住資料
(書)

今回昭和村へ寄贈して
いただいた資料の中に
は、明治時代、昭和村(当
時は野尻村・大芦村)か
ら北海道へ移住した人の
ことが分かる資料も入っ
ていました。

1、栗城小太郎からの
近況報告が書かれ
た書付(明治42年
へ1909)、からむ
し工芸博物館所蔵)
これは、天塩国 上サ
ロベツ原野 栗城小太郎
から栗城三九郎にあてた
手紙です。

(参考)『昭和村の歴史』152頁

出寄留者の行先は不詳で
あるが、広い新天地をも
とめて海外へ、北海道へ
と移住した人もいます。北
海道へは明治初年に本名
宗三郎が開拓に移住した

のがもつとも早い。明治
39年(1906)には小
中津川の栗城小太郎がサ
ロベツにいぎ、引き続い
て翌年の春、松山の佐々
木登(当時11歳)が小太
郎をたよって渡道し、サ
ロベツの開拓に従事し、
酪農で成功している。
小太郎の移住したサロ
ベツ原野とは、北海道北
部に位置し、現豊富町・
幌延町(北海道天塩郡・
豊富町は稚内市の南)に
またがる湿原です。サ
ロベツ湿原とも言います。
ラムサール条約「利尻
礼文サロベツ国立公園」
に指定されている場所
です。

この書付には、小太郎が
書いた歳暮・元旦・42歳
の厄除け祈念の和歌(3
首)、「開墾ノ情状ヲ列挙
シタル軍歌ノマネ」が書
かれています。

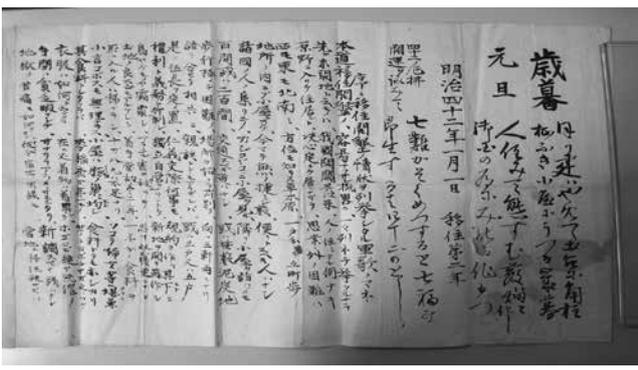
2、「開墾ノ情状ヲ列挙
シタル軍歌ノマネ」(前
半)
全文掲載しますが、紙
幅の都合で今月はまず前
半を載せました。前半は、
北海道開拓生活の苦労が
書かれています。七五調
を楽しめるので、よろし

ければ音読してみてください。
本道移住開墾ノ、容易ナ
ラサル概略ヲ、一々列ネ
テ挙クルナラ、先ツ未開
地ト云モノハ、我国開闢
其以来、人ノ住ミタル例
ナキノ原野ニ入りテ住居
ント、決心定メテ居リナ
ガラ、思案ノ外ノ困難ハ
ノ西モ東モ北南ミ、方位
モ知ラヌ草木原、一戸分
トテ五町歩ノノ地所ノ内
ニゾ小屋ヲカケ、今マテ
熊ノ捷ミシ藪、便リトス
ヘキ人ハナシノ諸国ノ人
ノ集リテ、カシコヤコ、
ニ小屋ヲ見ル、隣リノ小
屋ヲ訪ハンニモノ百間或
ハ二百間、交通スベキ道
ハナシ、或ハ笹藪泥炭地
ノ歩行極メテ困難ノ、場
所ヲ始メテ別テ、向フ
三軒両トナリノ語リ合セ
テ相共ニ、親族トテモア
ラザレバ、或ハ三戸又ハ
五戸ノ是ニ伍長ヲ定メ
置、仁義交際何事モ、規
約ヲ作り其下ニノ権利ト
義務ト抑制シ、独立自営
ヲナサントテ、新地ヲ開
キ蒔作ルノ鳥ヤケモノ
ヤ霜嵐シ、アラユル害ヲ
被リテ、思フ収穫更ニナ
シノ土地ノ良否モアル

ケレト、着手当初ノ書二
年、一年分ノ食料ヲノ取
リ入ル人ハ稀ナラン、十
ガ八九ハ不足ナリ、ソコ
テ婦女等ハ堪兼ノ小言コ
ボスモ無理ナラス、小屋
ハ豚ノ糞ニ均シ、食料ト
テモ亦シカリノ其食料ト
シタナラバ、麦稻黍ガ第
一二、芋トカボチヤガ之
ニツゲノ衣服ハ如何ト出
タナラ、在ル丈着物ハ着
果シテ、ホゴロビ縫ヤ洗
濯ノノ手間ハ貧乏暇ナシ
テ、サナカラアラメニサ
モニタク、新調スベキ銭
ハナシノ地獄ノクツウモ
如何セン、仮令宿世ノ因
縁モ、当地工移住致サズ
バノ斯ル貧苦ハセマイモ
ノ、残キ心モ一理アリ

※「ノ」は改行している所。
(続)

元旦の歌は、「人住みて
熊すむ藪ハ畑と化し御国
の為にみゆる(実る)作
もつ(物)」と書かれてい
て、開拓の大変さ、収穫
の喜びがうかがえます。
(写真) 栗城小太郎から
の書付



Wi-Fi のむら

#11 スマートフォン・タブレット教室

村では、令和4年度から生活圏の屋外でのインターネット通信を無料で利用できる「公共インフラWi-Fi」の整備を段階的に進めています。その普及にあたって、Wi-Fiやデジタル技術について、隔月での連載を行っています。

【お問い合わせ】総務課 企画創生係 0241-42-7717

何でも相談会

7月下旬から各地区において、スマートフォン・タブレット教室を開催しています。

既に使われている方はもちろん、触ったことがない方でも参加できるように、体験用の端末とWi-Fiを準備しています。そもそもスマホって何？といった話や、文字の入力方法、Wi-Fiへの接続、LINEって何？、村公式LINEの使い方など、参加された方が疑問に感じていることや知りたいことに応じて、その都度、柔軟に内容が変わります。10月や11月にも開催しますので、皆さまぜひご参加ください。日程についてはコバシリ等でご案内します。

今後、運用開始する、電子図書館やAIオンデマンド移動サービス、役場からのお知らせをアプリで受け取れるサービスなどの登録や利用方法についてもご案内する予定です。

ガラケー、いつまで使える？いつまで使う？

携帯電話会社によって終了予定時期は異なりますが、3G携帯電話（ガラケー）がまもなく使えなくなります。私もユーザーなので、ギリギリまでなんとか使いたいと思いつつ、もう修理もできないので、落として壊さないように、大切に（笑）机の上に置いています。

ご自身はもちろん、ご家族の携帯電話はいかがでしょうか？4G携帯電話に機種変更する手もありますが、これを機にスマートフォンにするという手もあります。

「機能が使いこなせないからスマホは必要ない」といった話も聞きますが、そもそも使いこなしている人、いますでしょうか？デジタルに強いと思われる若者でも、自身に必要な機能しか使っていません。そうした、各自の好みに合わせてカスタマイズできるのも、スマートフォンの便利なところ。ぜひ、今後のスマートフォン・タブレット教室で体験してみたいはいかがでしょうか？

(と)



ふるさと納税 — ご寄附いただいた皆様ありがとうございます —



令和5年7月1日 ～ 令和5年7月31日まで

【寄附件数】 1件 【寄附金額】 77万5千円

ご寄附は地域の活性化事業や保健・医療・福祉の充実等村の抱える課題解決に活用させていただきます。

ご寄附いただきありがとうございました。

警察署からのお知らせ

子どもの車内放置は『虐待』です

炎天下の車内に子供を放置する行為は児童虐待です。

子供は、身体の体温調節機能が未熟なこともあり、短時間でも重度の熱中症を発症し、命を失う可能性があります。



炎天下の車内の温度は、日中の気温上昇とともに急上昇し、少し窓を開けている程度では防ぐことはできません。

「眠っているから」、「すぐに戻るから」という安易な気持ちで子供を乗せた車内から離れないようにしましょう。

また、車内に放置された子供を発見した場合には、すぐに110番通報してください。

昭和村内街頭犯罪等発生状況 (令和5年7月末現在)

区分	管内	昭和村
強盗		
空き巣	4	
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	5	0
その他刑法犯等	28	0
全刑法犯	33	0

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和4年1月1日からの累計数になっています。

消防署からのお知らせ

9月9日は救急の日

9(きゅう)9(きゅう) = 「救急」という語呂合わせでできた日で、この日を含む1週間を「救急医療週間」(今年は9月3日~9日)として、全国各地において救急に関する様々な行事が実施されています。

◎救急車の適正利用をお願いします!

救急車の正しい利用について今一度考えてみましょう。

緊急性のない救急車の利用は、緊急性があり本当に救急車を必要としている人に対して救急車の到着が遅れ、救える命が救えなくなる心配があります。緊急性があり本当に救急車が必要な時は、ためらわずに救急車を呼んでください。

◎119番通報では何を話したらいいの?

なんて話をよく耳にします家族が急に倒れた!家が火事になった!そんな時119にどう電話したらいいか...お教えします!

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| ①どこへ向かえばいいか(住所) | ・特に住所がわかれば私たちは出動できます。 |
| ②誰が必要としているか | ・住所がわからなければ、近くの目標となる建物でも大丈夫です。 |
| ③どんな様子か | |
| ④電話番号 | ・後はこちらから質問するので安心して下さい! |

救急車を呼ぶ際に消防署に電話の方がおられます。消防署に電話するより119番に電話の方が対応が早くなりますので、救急車が必要な時は、「119」に電話して司令センターに救急車を依頼してください。

火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

十・10月の休日当番医十

- 9月10日(日) 寿松堂渡辺医院
☎ 0242-83-3125 (会津坂下町)
- 17日(日) 吉川医院
☎ 0242-56-3358 (会津美里町)
- 18日(月・祝) 県立宮下病院
☎ 0241-52-2321 (三島町)
- 23日(土・祝) 平野医院
☎ 0242-83-2243 (会津坂下町)
- 24日(日) 高田厚生病院
☎ 0242-54-2211 (会津美里町)
- 10月1日(日) 荒井医院
☎ 0242-83-2224 (会津坂下町)
- 次回広報発行までの間の休日当番医を掲載
します。通院の参考にして下さい。

◆◆◆戸籍の窓口◆◆◆

令和5年7月1日～7月31日受付

- お誕生おめでとうございます
今月の届け出はありません
- ご結婚おめでとうございます
今月の届け出はありません
- おくやみ申し上げます
山内 サトミ さん 96歳 小中津川
小林 甫 さん 86歳 野尻
栗城 福王 さん 93歳 下中津川

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は
届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆昭和村の人口◆◆◆

令和5年8月1日現在※住民基本台帳人口

人口	1,130人 (-3)	出生	0人
男	549人 (-1)	死亡	3人
女	581人 (-2)	転入	1人
世帯数	627戸 (+1)	転出	1人

◆◆◆すみれ荘だより◆◆◆

つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30
(会場の都合により使用できるお部屋が変更
になる場合がありますのでご了承ください)

<健診結果について>

8月に実施した総合健診の結果が9月中旬
旬以降に送付されます。健診の結果、再度
詳しい検査や治療が必要な場合は医療機関
への受診をお願いします。

結果送付直後は診療所が混雑する傾向に
ありますので、慌てて受診せず、混雑を避
けての受診にご協力ください。また、健診
結果について不明な点がありましたら、保
健福祉課保健師(57-2645)までお気軽に
ご相談ください。

健康ミニ情報

高血圧は自覚症状がほとんどなく進行し
ていくため、治療に結びつかない場合もあ
りますが、高いまま放置すると血管に負担
がかかり、心臓や脳の血管にも影響して心
疾患や脳血管疾患の原因となっていけます。

健診結果等で血圧が高かった場合には、
放置せず、必ず受診しましょう。

また、日頃から減塩を始めとする適切な
食生活や適度な運動、高血圧の原因ともな
る肥満の予防も併せて食生活、生活習慣を
見直し、高血圧の予防や悪化の防止に努め
ましょう。

交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。



◆◆◆今月の納税◆◆◆

- ◎ 国民健康保険税 3期
- ◎ 後期高齢者医療保険料 2期
- ◎ 介護保険料 3期
- ◎ 上下水道使用料 3期

[納期限：令和5年10月2日]



広報

しょうわ

2023

9

No.652

地域のしあわせづくり活動紹介「村の魅力を後世につなげるために・・・」

博士トンネルの開通を祝う記念行事の一環として、写真家・星野雄飛氏をゲストに「昭和村の魅力を考え活かす座談会※」が8月27日に開催されました。

会場には、70年ほど村で暮らしておられる方々、地域おこし協力隊、からむし織体験生、結婚を機に村に移住した若者、独自に観光交流事業を展開している起業家など、様々な経緯で現在昭和村に住む13名が集い、思い思いの意見を真摯にそして楽しく語り合う座談会となりました



※主催は「博士峠のトンネルを実現する会」

(生活支援コーディネーター：和泉朋子・小林さや香)

みんなで育てる、村LINE公式アカウント

お友達の数が、350人を超えました！たくさんのご登録ありがとうございます！

昭和村

LINE 公式アカウント

LINEで「昭和村」を友だち追加



ID: @showavill

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください。

LINEで

昭和村からのお知らせ

を受け取ろう!!

はたき

集中して作業をしていると、ついつい、休憩するのを忘れてしまいますが、熱中症を防ぐためにも水分補給は不可欠です。

10時と15時の「いっぶぐ」が広く認知されているのは、習慣化する事によって、事故や病気を未然に防ぐ、といった理由もあるのかもしれない。

9月に入りましたが、まだまだ厳しすぎる残暑が続くそうです・・・

エアコン・扇風機・サーキュレーターを適切に使用し、夏バテならぬ秋バテに気を付けましょう。(と)

昭和村民憲章

- 一、伝えましょう
はた音の響き
- 一、守りましょう
手技の智恵
- 一、創りましょう
おいしい水
豊かな大地
- 一、育てましょう
健やかな心と体
長寿の里
- 一、助け合おう
いたわりの気持ち
- 一、広げましょう
明るい笑顔
みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp

発行日：令和5年9月6日
編集・企画：昭和村役場総務課

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 652
TEL: 0241-57-2111 / FAX: 0241-57-3044
WEB: https://www.vill.showa.fukushima.jp/